

生花でシンデレラの一場面を表現



繊細な技術が織りなす華やかな世界

◎きほく生花・お茶会展

「きほく生花・お茶会展」は11月8日と9日の2日間、広見体育センターで開催されました。会場内に繰り広げられる小原流や池坊など5流派による共演。それぞれの特徴が見事に表現された生花の数々が、訪れた人達を魅了していました。また、毎年恒例となっている童話をテーマにした生花。今年は「シンデレラ」のストーリーが表現され、その巧みな技術が来場者らの関心を集めていました。

また9日には、同会場でお茶会が行われ、その所作と点てられたお茶が、訪れた人たちを和ませていました。

息の合った演奏を披露する児童ら



音から伝わる子ども達の「一生懸命」

◎平成26年度きほくふれあい音楽会

11月7日、広見中学校体育館で「平成26年度きほくふれあい音楽会」が開催され、町内の小中学校が参加しました。

第1部の合唱と第2部の合奏に分かれて行われた音楽会。各学校の児童生徒らは、振り付けやソロパートなど、それぞれに趣向を凝らした演奏を披露し、会場内に伸びやかな歌声や迫力ある演奏を響き渡らせました。

懸命に練習を積み重ね、徐々にその技を洗練してきた児童生徒たち。その思いのこもった歌声や演奏が、観客らの心を惹きつけていました。

お祝い状を受け取るご夫婦



助け合い、支え合い、心一つに

◎第11回鬼北町社会福祉大会

11月22日、広見体育センターで「第11回鬼北町社会福祉大会」が開催されました。

式典では、長年ボランティア活動に貢献した人や団体、家族の介護を献身的に行った人に対する表彰が行われ、今年は1団体、7人が受賞しました。また、結婚60年以上の「ダイヤモンド婚」を迎える夫婦12組を対象にお祝い状の贈呈が行われました。

その後、「笑って笑ってお元気に」をテーマに笑福亭学光氏の講演を開催。落語家ならではの軽快な口調から繰り上げられる話に、来場者らの顔には終始笑顔が浮かんでいました。

山下シェフにコツを教わる参加者



プロから学ぶワンランク上の技術

◎スイーツ作り教室

「スイーツ作り教室」は11月19日、中央公民館調理室で行われ、鬼北町産のブルーベリーやゆずを使った「マラーカオ（中華風蒸しパン）作り」に挑戦しました。

兵庫県の「エルミタージュラサ」の山下堅二シェフを迎えて行われた料理教室。参加者らは、山下シェフから一つ一つの工程ごとにアドバイスを受けながら、丁寧に調理を進めていきました。

一流のシェフの技を身近で見られるめったにない機会。参加した人たちは興味津々の様子で、山下シェフの手元にじっくりと見入り、その言葉に耳を傾けていました。